

「高等教育研究」執筆要領（2016年9月24日改訂）

「高等教育研究」の論文及び論文用紙の執筆は、次の要領による。

1. 論文原稿は、必ずワープロを使用し、次の点を厳守すること。

- (1) A4判、横書きで、和文の論文の場合は1頁を34字32行、英文の論文の場合は68字37行で記述する。『高等教育研究』の刷り上りの体裁では、A4用紙横置きに2段組で印字する。このため、図や表については、実際の印刷原稿では縮小されることを想定して読みにくいことがないように作成する。
- (2) 句読点は、和文は、全角の「.」「,」、英文及び引用等で用いる欧文には半角の「.」「,」を使用する。
- (3) 図、表には表題を付し、頁の文字分の行列内に貼り付けるか、論文原稿末尾に貼付し、本文中には挿入すべき箇所を指定する。図、表による字数の減少は、(1)をもとに換算する（本誌2分の1ページは544字に相当）。
- (4) 注は文中の該当箇所に1), 2), ……のように表記し、論文原稿末尾にまとめて記載する。
- (5) 投稿論文の場合は、「拙著」「拙稿」など投稿者名が判明するような表現は避ける。
- (6) 投稿論文は、ワード又は一太郎、もしくはテキストファイルに変換可能な文書ソフトで作成し、PDF化原稿と共に投稿する。電子ファイルは投稿者名が判明するような文書名をつけない。

2. 引用文献の提示方法は、原則として次の形式に従うこと。

- (1) 文献を示す割注については、全角丸括弧内に「著者の氏（注1）_出版年：_始頁-終頁（注2）」の記載を原則とする。なお、「_」は半角スペース、「:」は半角コロン、「-」は半角ハイフンをあらかず。

（注1）共著の場合は、「第1著者・第2著者」の順に記載し、ナカグロでつなぐ。3名以上の場合は、「第1著者ほか」として「ほか」をつける。編書の場合は、「編者名編」として「編」を入れる。監修の場合は、「監修者名監修」として「監修」を入れる。英文による3名以上の共著の場合は、「et al.」を、一人の編書の場合は「ed.」、2名以上の編書のときは「eds.」をつける。

（注2）終頁の数値のうち、始頁の数値と同じ上位の桁は省略する。

例：「...が明らかにされている（山田 1990:165-9, 佐藤 1993:259-61）。」

「山田（1998）によれば、...」

- (2) 翻訳書、翻訳論文の場合は、「原著者の氏_原書の出版年=訳書の出版年」を原則とし、頁数の記載にあたっては、訳書の頁を用いる場合は、「原著者の氏_原書の出版年=訳書の出版年:始頁-終頁」、原書を参照して独自に訳出した場合には、「原著者の氏_原書の出版年:始頁-終頁」とする。

例：「...と論じている（Smith 1930=1996:51-64）。」

- (3) 引用文献は、末尾に和文、欧文を含めて著者の姓のアルファベット順、年代の古い順に西暦で記し、同一著者の同一年の文献は、引用順に a, b, c ……を付し、注の後にまとめて記載する。

（和文の著書）

著者氏名（注1）、（注2）、出版年、『書名-副題』（注3）出版社名（注4）。

例：山田太郎・鈴木一郎、1998、『高等教育論—マスからユニバーサルへ』青山出版。

例：スミス、K.（太田二郎訳）、1998、『大学史』青山出版。

(和文の共著(編書)の収録論文)

著者氏名, 出版年, 「論文名—副題」共著(編, 監修)者氏名『書名—副題』

出版社名, 始頁—終頁(注5)。

例: 山田太郎, 1998, 「専門職大学院の登場—法科大学院に着目して」青山和夫編『現代の
高等教育改革』鈴木出版, 253-68.

(和文の論文)

著者氏名, 出版年, 「論文名—副題」『雑誌名』巻(号): 始頁—終頁.

例: 山田太郎, 2000, 「イギリスの高等教育財政—日本との比較」『高等教育学会誌』3(2):198-
213.

(注1) 共著の場合は, 「第1著者・第2著者」の順に記載し, ナカグロでつなぐ. 編書の場合
は, 「編者名編」として「編」を入れる. 「第1著者ほか」としてもよい. 監修の場合
は, 「監修者名監修」として「監修」を入れる. カタカナ表記の外国人名については,
「氏, 名の頭文字.」(スミス, K.)とする.

(注2) 「,」 「:」 「.」 「:」 は半角とし, スペースをあける.

(注3) 書籍に関する第3巻, 第2版, 上・下などの情報は, 『書名—副題(第3巻)』の
ように『()』として記載する.

(注4) 文庫名, 新書名から出版社名がわかる場合は, 文庫名, 新書名を出版社名に代替して
もよい.

(注5) 終頁の数値のうち, 始頁の数値と同じ上位の桁は省略する.

(英文の著書)

著者氏, _名_ミドルネームの頭文字., (注6) _出版年, _書籍:_副題, _出版都市名:_出版社名.

例: Jackson, Suzanne L., 1976, College Culture: The Transformation in the 90's, New
York: ABC Press.

(英文の共著(編書)の収録論文)

著者氏, _名_ミドルネームの頭文字., _出版年, _“論文名:_副題,”_共著(編)者名(注7), _書
籍:_副題, _出版都市名:_出版社名.

例: Young, Peter, 1988, “The New Age of Higher Education,” Jackson, Suzanne L., Clay,
Stacey, and Johnson, Martin S. eds., Academic Revolution, Washington D.C.:
American Press.

(英文の論文)

著者氏, _名_ミドルネームの頭文字., _出版年, _“論文名:_副題,”_雑誌名, _巻_(号): 始頁-終
頁.

例: Young, Peter, 1995, “The New Life for College Curriculum: Assessing Progress in the
Reform of Undergraduate Education,” Higher Education Review, 4(3): 175.83.

(翻訳書・論文の場合)

原典の書誌情報. (=翻訳出版年, 訳者名訳, 『書名—副題』出版社名.)

例: Jackson, Suzanne L. and Young, Peter, 1983, American Academic Culture, New
York: ABC Press. (=1995, 山田太郎訳, 『アメリカの学術文化』東京出版.)

(注6) 「,」 「:」 「.」 は半角とし, 「,」 「:」 は, 後ろに半角スペースを空ける.

(注7) 共著の場合は、著者氏、_名_ミドルネームの頭文字. _and_著者氏、_名_ミドルネームの頭文字. と「and」でつなぐ。3人以上の場合は、著者氏、_名_ミドルネームの頭文字. を「,」でつなぎ、最後の著者名のみ、「,_and」としてつなぐ。

編書の場合は、著者氏、_名_ミドルネームの頭文字. _ed.と「ed.」で表す。複数の編者の場合は、「eds.」とする。

〈ウェブサイトからの引用の場合〉

・ 図書・論文の引用

可能な限り上記の引用文献の提示方法にしたがい、URLと最終アクセス日を（ ）内に記載する。

例：山田太郎，2003，「調査のガイドライン」『社会学の方法』東京出版。

(<http://www.tokyo.co.jp/shakaigaku/yamada.html>, 2004.12.10.)

例：青木二郎，2004，『大学論』文葉社。

(<http://www.bunyou.co.jp/daigaku/aoki.pdf>,2004.12.10.)

例：Smith, William, 2003, “Research on Attitude among Japanese Youth,” *American Psychologist*, 50 : 153.79. (<http://www.apa.org/journals/smith.html>, 2004.12.10.)

例：Green, Robert, 2001, *Advancing Online Learning*, San Francisco : Cal Publisher.

(<http://www.calpub.com/green.htm>, 2004.12.10.)

・ 新聞記事・abstractなどの引用

原則、図書・論文の引用形態にならうが、新聞記事については掲載月日と可能であれば掲載ページを、abstractについては(Abstract)と追加記載する。

例：青山雄一，2004，「教員のITへの対応は不十分 JASET 調査」『毎夕新聞』12.16.

(<http://www.maiyu.msn.co.jp/edu/elearningschool/topics/news/20041216org00m040073000c.html>, 2004.12.20.)

例：Kurz, Kathy and Scannel, Jim, 2004, “How Should Public Colleges Price Their Product?” *The Chronicle of Higher Education*, December 17, p. B 12.

(http://chronicle.com/prm/weekly/v51/i17/17b_01201.htm, 2004.12.20.)

例：Swidler, Ann and Ardit, Jorge, 1995, “The New Movement of College Education,” (Abstract), *Annual Review of Higher Education*, 30 : 305.20.

(http://www.annurev.org/series/higheredu/Vol_30/co_30_abst.html, 2004. 10. 23.)

3. 論文要旨は、英文及び和文で、下記により作成のこと。

(1) 和文の論文の場合

a. 英文は、A5判、横書きで、論文題目を記載し、要旨本文は68字30行以内で記述。

b. 和文は、A5判、横書きで、論文題目を記載し、要旨本文は34字10行以内で記述。

(2) 英文の論文の場合

a. 和文は、A5判、横書きで、論文題目を記載し、要旨本文は34字30行以内で記述。

b. 英文は、A5判、横書きで、論文題目を記載し、要旨本文は68字10行以内で記述。

4. 論文、和文要旨、英文要旨には、氏名・所属を記さない。

5. 執筆者連絡票を、下記により作成のこと。

(1) A4判、横書きで、論文題目(和文・英文)、氏名、所属、連絡先(住所、電話番号、メールアドレス)を記述。

6. 論文, 和文要旨, 英文要旨, 執筆者連絡票を別々のファイルとして作成のこと.